

三重の土地改良アラルト

県営中山間地域総合整備事業 「志摩中南部地区」について

伊勢農林水産事務所 農村基盤室
基盤整備課 主任 森 雅彦

1 地区概要

三重県の南東部に位置する志摩市は全域が伊勢志摩国立公園に含まれ、英虞湾や矢湾といったリアス海岸の特徴的な美しい自然を有しており、地域固有の自然を生かした水産業や農業、観光業を中心に発展してきた地域です。なかでも磯部町は市内でも農地面積が多く水稻耕作の盛んな地域となっています。しかしながら、近年増加しつつある耕作放棄地や農業従事者の高齢化による後継者不足が課題となっています。

2 事業概要

本事業では、農業生産基盤整備と農村生活環境整備を実施しています。農業生産基盤整備では農業用排水路や農道の整備により営農経費や維持管理費の削減を図っています。農村生活環境整備では農業集落道や集落防災安全施設の整備により生活環境の改善や災害防止に取り組んでいます。

事業内容は下記のとおりです

総事業費 766,000千円

事業工期 平成28年度～令和5年度

事業内容 農業生産基盤整備

農業用排水整備 L=2,374m

農道整備 L=4,718m

農地防災施設整備 N=7箇所

農村生活環境整備

農業集落道整備 L=913m

集落防災安全施設整備 N=2箇所

3 現場紹介

今回は磯部町恵利原地区の整備について紹介いたします。当地域は磯部川沿いに展開する15.3haの水田地帯であり、約20a/筆の小規模なほ場でありながら担い手への農地集積は進んでいます。

一方で、ほ場内の農道は幅員が狭い未舗装道路のまま、水管理は用排水路兼用の土水路が利用されており、営農機械の搬出入や安定した用水確保に多大な労力を要していました。このため、本事業において農道を拡幅してア

スファルト舗装を施工し、用排兼用の土水路は、鉄筋コンクリート二次製品水路による工事を実施しました。

(1) 道路幅員について

アスファルト舗装の施工により全幅2.0mから2.5mへ拡幅し、ほ場内への営農機械の搬出入を容易にすることができました。



着工前の状況



施工後の状況

(2) 水路断面の決定について

用水と排水を兼用する施設であるため、それぞれの流量で必要断面を検討した結果、排水流量に対する断面決定としました。また、一筆用水の取水には堰上を必要とし、角落しを設けました。



用排兼用水路

(3) 水路環境の保全

当地区に生息する魚類・両生類の環境保全のため、環境アドバイザー協議会からの意見を参考に保全措置を行いました。魚類への配慮として、通年における貯水場の確保、両生類に対しては水路内外への移動を容易にするためのスロープを有する環境柵を設置しました。



環境柵

(4) まとめ

今回の現場は、基盤整備による農業の生産性の向上と自然環境の保全といった2面性のある施設となりました。引き続き、営農者はもちろんのこと、地域の方に関心を持っていただけるような基盤整備に取り組んでいきたいと考えております。